

AOMORI EARTH 2019:
AGROTOPIA

青森EARTH 2019

いのち 耕す 場所

農業がひらく
アートの
未来

5 OCTOBER —
1 DECEMBER 2019

CLOSED: 15, 28 OCTOBER AND
11, 25 NOVEMBER
HOURS: 9:30—17:00
(ADMISSION UNTIL 16:30)

WHEN LIFE
BECOMES ART
THROUGH
LOCAL
AGRICULTURE

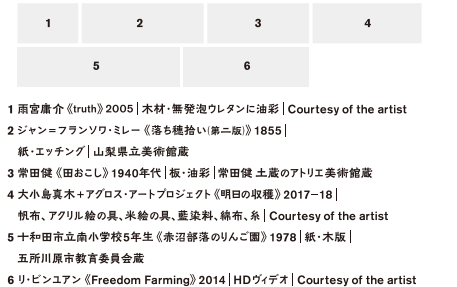
二〇一九(令和元)年
一〇月五日[土]▼▼▼
二月一日[日]

休館日
一〇月二五日、二八日、
二月二日、二五日
開館時間
九時三〇分—一七時
入館は一六時三〇分まで

青森県立美術館

主催 青森EARTH 2019 実行委員会
(青森テレビ、青森県観光連盟、青森県立美術館)
協力 安藤昌益資料館、青い森鉄道、
JRR 東日本青森商業開発
後援 NHK 青森放送局、青森ケーブルテレビ、
ハルテレビ放送、エフエム青森、東奥日報社、
陸奥新報社、デイリー東北新聞社、
北奥新聞社、青森県教育委員会、
八戸市教育委員会、五所川原市教育委員会

AOMORI MUSEUM OF ART



1 雨宮庸介《truth》2005 | 木材・無発泡ウレタンに油彩 | Courtesy of the artist
 2 ジャン＝フランソワ・ミレー《落ち穂拾い(第二版)》1855 |
 紙・エッチング | 山梨県立美術館蔵
 3 常田健《田おこし》1940年代 | 板・油彩 | 常田健 土蔵のアトリエ美術館蔵
 4 大小島真木・アグロス・アートプロジェクト《明日の収穫》2017-18 |
 帆布、アクリル絵の具、米絵の具、藍染料、綿布、糸 | Courtesy of the artist
 5 十和田市立南小学校5年生《赤沼部落のりんご園》1978 | 紙・木版 |
 五所川原市教育委員会蔵
 6 リ・ビンユアン《Freedom Farming》2014 | HDビデオ | Courtesy of the artist

未来の農業がひろく アートを通して いのちを耕す場所

【参加アーティスト、展覧会で紹介される資料や人物】

青森の農具

青森の教育版画

浅野友理子 (画家)

雨宮庸介 (アーティスト)

安藤昌益 (青森ゆかりの近世思想家/医師)

岩名泰岳 (画家)

江渡狄嶺 (青森出身の近代思想家)

大小島真木 (画家) +

アグロス・アートプロジェクト

オル太 (アーティストコレクティブ)

久保寛子 (アーティスト)

田中功起 (アーティスト)

塚本悦雄 (彫刻家)

常田健 (画家/農民)

丹羽良徳 (アーティスト)

リ・ビンユアン (アーティスト)

三原聡一郎 (アーティスト)

ジャン＝フランソワ・ミレー (画家)

ザ・ユー・ジーン・スタジオ (アーティスト)

ジョン・ラスキン (社会思想家/美術評論家)

【観覧料】

一般 1,500円(1,300円)、高大生 1,000円(800円)、
中学生以下無料

- ・()内は前売券及び20名以上の団体料金
- ・障がい者手帳をご提示の方とその付添者1名は無料
- ・前売券は、ローソンチケット(Lコード21624)、セブンチケット、
ポみっと、青森県内各プレイガイドで10月4日(金)まで販売
- ・常設展は別料金です。

青森の大地に根ざしたアートの可能性を探究するシリーズ企画「青森EARTH」。今回のテーマは「農業」。食料生産の営みや社会の礎としての農業をヒントに、人が生きる力を養う術(アート)として芸術を紹介する展覧会「いのち耕す場所」を開催します。

三方を海に囲まれ、奥羽山脈が中央を二分する本州北端の地・青森。ここで人々は厳しくも豊かな自然をひたむきに耕し続け、飢えや寒さと向き合いながら、土地に固有の様々な農作物や技術を獲得し、今まで互いの「いのち」を紡いできました。そんな「いのち」を支える農業を軸に芸術を捉えなおしてみる。すると芸術が、今日の複雑化した社会システムの中で時に置き去りになった人の心と身体を浮き彫りにし、人が生きる力を養う術として、その機能を拡充させ始めることに気づきます。

本展では地域や農業にまつわる章構成のもと、現代アーティストを中心に近代の芸術家、青森の子どものたちの版画作品、農具や「農の思想家」安藤昌益らをジャンル横断的に紹介します。本展において農業と融けあう芸術は、人と自然を等しく活かす術(アート)ともなり、それらを展示する美術館は地域に根ざした「いのち耕す場所」として生まれなおすことになるでしょう。様々な危機に揺れる今日の世界で、本展が地域からアートの未来をひろげるための視座となれば幸いです。

【関連イベント】

オープニングパフォーマンス

日時 | 10月5日(土) 13:00-13:45(予定)

出演 | オル太

集合 | エントランスギャラリー

料金無料・申込不要

—

連続講座「美術館堆肥化計画」

農業にまつわる思想や社会実践をヒントに、大地に根ざしたアートのあり方を皆で考える連続講座

日時 | 10月13日(日) ①10:00-12:00 ②13:30-16:30

11月16日(土) ③13:30-16:30

11月17日(日) ④11:00-12:00 ⑤13:30-16:30

11月30日(土) ⑥13:30-16:30

講師 | ①石渡博明(安藤昌益の会事務局長)

②⑤安藤昌益勉強会*

③東千茅(農耕者/雑誌『つち式』主宰)、
森元斎(哲学者)

④山内輝雄(農家/「昌益村」村長)

⑥オル太、榎木野衣(美術批評家)、
山内明美(歴史社会学者)、豊島重之(演出家/故人)

集合 | エントランスギャラリー

料金無料・申込不要

- *片岡龍(東アジア思想史家)、木村真喜子(安藤昌益を世界に発信する会)、
山内明美、日中韓の若者らによる安藤昌益についての無境界勉強会
- ・単発でもご参加いただけます。
- ・各回テーマや講師プロフィール等、詳しい情報は美術館ホームページをご覧ください。
- ・本事業は青森県立美術館サポートシップ倶楽部との共催事業です。

担当学芸員によるギャラリートーク

日時 | 10月6日(日)、12月1日(日) 各日14:00-15:00

講師 | 奥脇嵩大(青森県立美術館学芸員)

集合 | エントランスギャラリー

料金無料・申込不要

【お問合せ】

青森EARTH2019展実行委員会事務局
(青森県立美術館内)

〒038-0021 青森市安田字近野185

185 Chikano, Yasuta, Aomori City, Aomori 038-0021

TEL 017-783-3000 FAX 017-783-5244

www.aomori-museum.jp

青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART



車 JR新青森駅から約10分、青森駅から約20分、青森空港から約20分

バス 青森市営バス | 青森駅前(6番のりば)から「三内丸山遺跡行き」乗車、
「県立美術館前」下車(所要時間約20分)
ルートバスねぶたん号 | JR新青森駅東口(3番のりば)から乗車、
「県立美術館前」下車(所要時間約10分)